

**国道153号 飯田南道路  
(飯田市山本地区・伊賀良地区)  
第1回アンケート(案)**

**国土交通省 中部地方整備局**

**平成30年12月18日**

# 道路計画に関するご意見をお聞かせください



## 国道153号 の計画に関する 飯田市山本～飯田市伊賀良

## の計画に関する 第2回アンケート



このアンケートの対象は、国道153号（飯田市山本～飯田市伊賀良）の区間です。



アンケートの  
答え方は、  
P.2を  
ごらんください。



回答用の郵便はがきは、  
お近くのポストへ  
※この期間以降にご回答いただいた場合、集計に反映されない場合がございます。

平成●年●月●日 (日)

までに投かんを  
お願いします。

P.1

お問い合わせ先



国土交通省 中部地方整備局  
飯田国道事務所 計画課

〒395-0024 長野県飯田市東栄町 3350  
電話：TEL(0265)53-7204(直通)  
ホームページ：http://www.cbr.mlit.go.jp/iikoku/



国道153号飯田市山本地区・伊賀良地区における課題解決のための目標を定めました

第1回委員会にて整理した地域の課題と地域の皆様から頂いたご意見（第1回意見聴取結果）をもとに課題を解決するための目標を以下の通り定めました。

課題 1 渋滞

- ◆ 国道153号は、飯田市街地への通勤等に利用されています。
- ◆ 特に飯田IC西交差点付近では、朝夕を中心に渋滞が発生しています。



朝の渋滞状況

第1回意見聴取で  
いただいたご意見

渋滞を解消してほしい

目標

交通の円滑化

朝ピーク時渋滞状況（飯田IC西交差点付近）

課題 2 事故

- ◆ 対象区間では、死傷事故率が長野県平均の約1.5倍となっています。
- ◆ 歩道が狭い箇所があり、通学児童など歩行者が事故に巻き込まれる危険性があります。



現在の歩道の状況（児童通学時）  
（大瀨木交差点付近）

歩行者の近くを  
大型トラック等が  
通り危険

第1回意見聴取で  
いただいたご意見

十分な幅員確保・  
安全性の高い道路が必要

目標

交通安全の確保

課題 3 アクセス強化

- ◆ リニア中央新幹線長野県駅の開業による観光客の増加や産業の活性化が見込まれています。
- ◆ 県外からの観光客の誘客につなげるため、観光地へのアクセス向上が求められています。



観光  
振興



産業  
振興

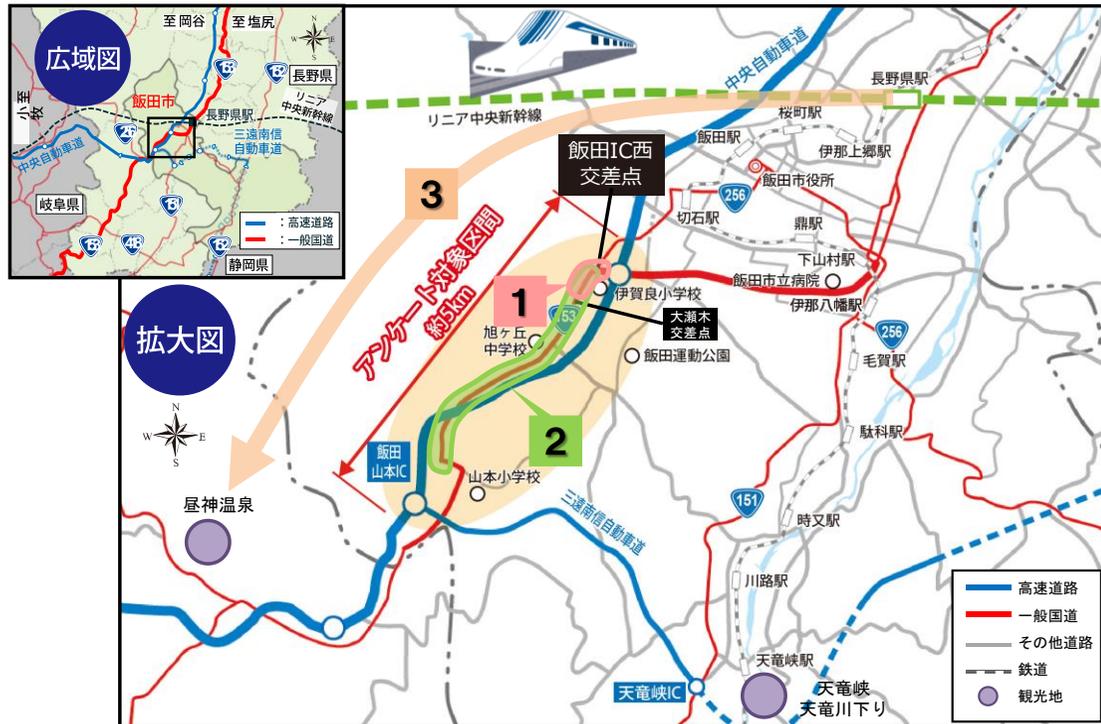
成長が見込まれる航空宇宙産業

第1回意見聴取で  
いただいたご意見

産業拠点や観光地への  
アクセス向上が必要

目標

地域振興



定めた目標と以下配慮事項を踏まえ、対策案を検討します。

基本コンセプト：渋滞の緩和、交通安全の確保、アクセス強化を図り、主要幹線道路及び安全・安心な生活道路としての機能向上を目指す

○対策案を検討する上でのその他の配慮事項

自然環境の保全	生活環境への配慮
防災への配慮	経済性への配慮

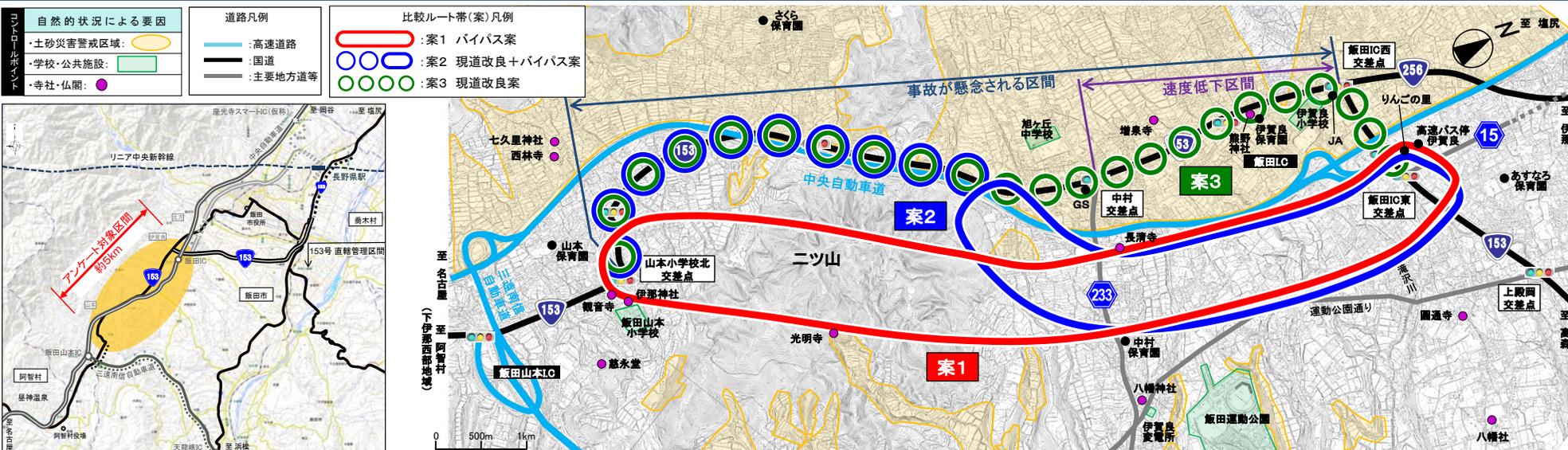
対策案の方針：既存の道路ストック活用や別線整備等の対策案を検討

○対策案を検討する上での重視すべき事項

渋滞が少なくなること	工事中の周辺住民への影響が小さいこと
交通事故の危険性が減少すること	転居が必要な家・店舗など、現道の沿道利用環境の変化が少ないこと
歩行者が安全に通行できること	国道153号（バイパス及び現道）の沿道利用が見込まれること
リニア新幹線を利用した観光客が観光地へ行きやすいこと	災害時に道路を通れること
自然環境の変化が少ないこと	道路をつくる費用が安いこと

地域の課題を解決するために、以下のような対策案(3つの比較案)を検討しています。対策案について、右下の質問事項をお答え下さい。

(1)各ルートの位置図



(2)各ルートの比較表

評価項目	番号	評価ポイント	案1: バイパス案	案2: 現道改良+バイパス案	案3: 現道改良案	
			全線がバイパスを整備し、通過交通を分離することで、渋滞や事故が懸念される箇所の課題解消を図る案	全線が現道を整備し、通過交通を分離し、沿道利用を一定程度配慮しつつ市街地部の通過交通分離を図る案	全線が現道を拡幅し、沿道利用に配慮しながら、渋滞や事故が懸念される箇所の課題解消を図る案	
交通の円滑化	①	渋滞が少なくなる	約4 km	約6 km	約5 km	
交通安全	事故	②	道路線形が良くなること	線形のよいバイパスができることで、安全性が向上	坂道は残るが、急カーブがなくなり、安全性が向上	坂道は残るが、急カーブがなくなり、安全性が向上
		③	歩道の幅が広がること	歩道の幅は変わらないが、バイパスに交通が移ることで、歩行者の安全性が向上	現道を改良する区間で歩道の幅が広くなり、安全性が向上	歩道の幅が広くなり、安全性が向上
地域振興	移動のしやすさ	④	リニア長野県駅から観光地へ早く到着できること	リニア長野県駅から観光地(軽神温泉)まで現状:26分 → 将来:21分	リニア長野県駅から観光地(軽神温泉)まで現状:26分 → 将来:23分	リニア長野県駅から観光地(軽神温泉)まで現状:26分 → 将来:24分
		⑤	自然環境への影響が少ないこと	全線で道路を新しく整備するため自然環境の変化が大きい	バイパス区間において道路を新しく整備するため、自然環境の変化が大きい	全線、現道を改良するため、自然環境の変化が小さい
生活環境への配慮	⑥	集落の近くで工事をしないこと	集落を回避するため工事中における生活環境への影響は小さい	現道を改良する区間において集落の近くで工事をするため、工事中における生活環境への影響は大きい	集落の近くで工事をするため、工事中における生活環境への影響は大きい	
	⑦	転居が必要な家・店舗の数が少ないこと	集落を回避するため、転居が必要な家・店舗の数が少なく、現道の沿道改変がない	現道を改良する区間で集落を通過するため、転居が必要な家・店舗の数が多く、現道の沿道改変がある	集落を通過するため、転居が必要な家・店舗の数が多く、現道の沿道改変がある	
	⑧	沿道利用が見込まれること	バイパスの沿道利用が見込まれるが、一方で通過交通がバイパスに転換することにより現道の沿道利用は減少する	バイパス区間ではバイパスの沿道利用が見込まれるが、一方で通過交通がバイパスに転換することにより現道の沿道利用は減少する。また、現道を改良する区間では現道の沿道利用は変化しない	現道の沿道利用は変化しない	
その他	⑧	災害における影響	土石流等の危険性がある地域を回避すること	一部、土石流等の危険性がある地域を回避できないため、災害時にも道路を通れる可能性が高い	一部、土石流等の危険性がある地域を回避できないため、災害時に道路を通れるか懸念が残る	
	⑨	経済性	道路をつくる費用が安いこと	約200~220億円	約190~210億円	約220~240億円

(3)質問事項

対策案(ルート帯案)を検討する際に、政策目標・配慮するポイントで、重要だと思う事項  
 質問1:この地域(飯田市山本~飯田市伊賀良)にとって、望ましいルート帯案を考える際に重要だと思うことは何ですか。  
 以下の①~⑩の項目について、4段階評価してください。  
 その他ご意見があれば⑪にご記入ください。

< 4段階評価 >

1. そう思う 2. ややそう思う 3. あまりそう思わない 4. そう思わない。

- ① 渋滞が少なくなることが重要
- ② 交通事故の危険性が減少することが重要
- ③ 歩行者が安全に通行できることが重要
- ④ リニア新幹線を利用した観光客が観光地へ行きやすいことが重要
- ⑤ 自然環境の変化が少ないこと
- ⑥ 工事中の周辺住民への影響が小さいことが重要
- ⑦ 転居が必要な家・店舗など、現道の沿道利用環境の変化が少ないことが重要
- ⑧ 国道153号(バイパス及び現道)の沿道利用が見込まれることが重要
- ⑨ 災害時に道路を通れることが重要
- ⑩ 道路をつくる費用が安いことが重要
- ⑪ その他(自由回答)

質問2:この地域(飯田市山本~飯田市伊賀良)の現在の道路の状況や、今後の道路整備等について、ご意見がありましたら、ご自由にお書きください。

質問:国道153号(飯田市山本~飯田市伊賀良)の利用状況等についてお答え下さい。  
 質問内容は、ハガキに記載してあります。

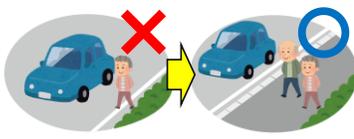
※現道:現在の国道153号

# 第2回 意見聴取の補足資料

## 質問事項のイメージ(例)

交通事故の危険性が減少することが重要

歩行者が安全に通行できることが重要

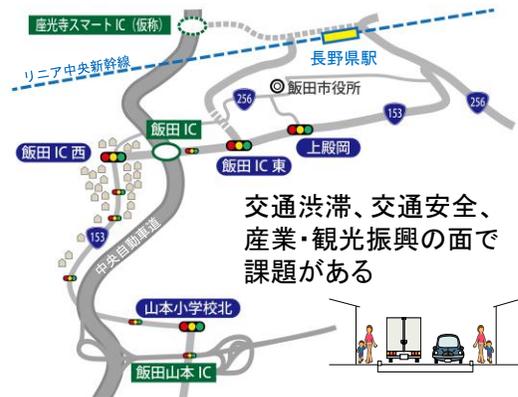


自然環境の変化が少ないこと

工事中の周辺住民への影響が小さいことが重要



## 現況のイメージ

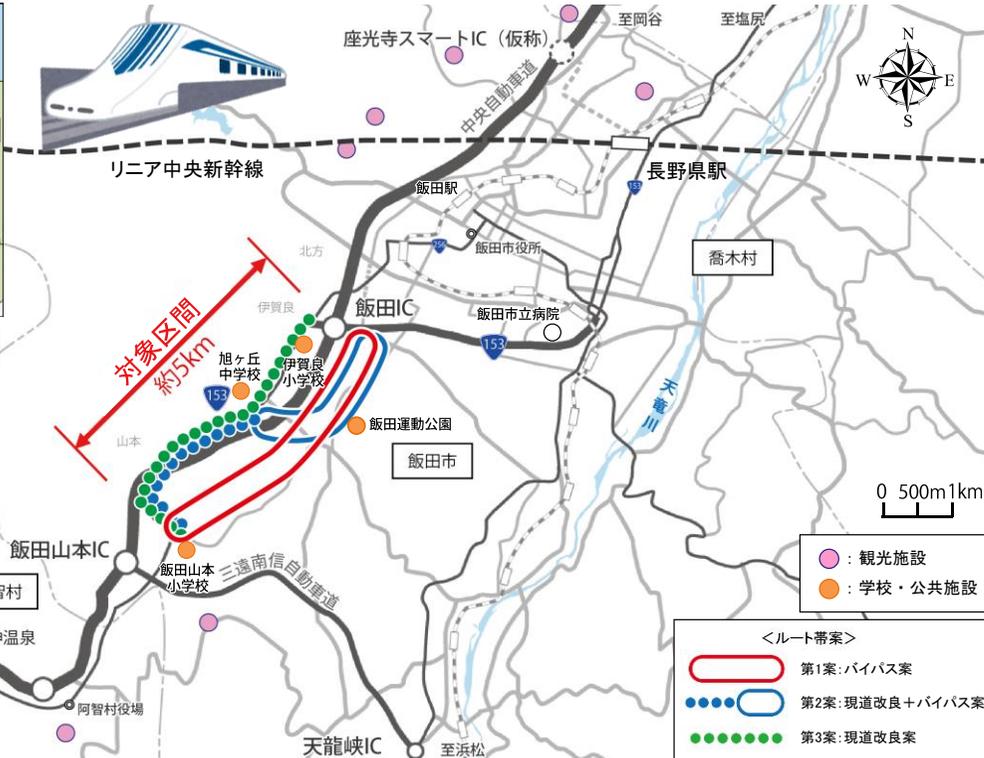


## 各ルート帯案の整備イメージ

案1  
バイパス案



## 国道153号（飯田市山本～飯田市伊賀良）



案2  
現道改良+バイパス案



案3  
現道改良案



●質問事項

対策案(ルート帯案)を検討する際に、政策目標・配慮するポイントで、重要だと思う事項

質問1:この地域(飯田市山本～飯田市伊賀良)にとって、望ましいルート帯案を考える際に重要だと思うことは何ですか。

以下の①～⑨の項目について、4段階評価してください。  
 その他ご意見があれば⑩にご記入ください。

< 4段階評価 >

4. そう思う 3. ややそう思う 2. あまりそう思わない 1. そう思わない。

- ①渋滞が少なくなることが重要
- ②交通事故の危険性が減少することが重要
- ③歩行者が安全に通行できることが重要
- ④リニア新幹線を利用した観光客が観光地へ行きやすいことが重要
- ⑤自然環境の変化が少ないこと
- ⑥工事中の周辺住民への影響が小さいことが重要
- ⑦転居が必要な家・店舗など、現道の沿道利用環境の変化が少ないことが重要
- ⑧国道153号(バイパス及び現道)の沿道利用が見込まれることが重要
- ⑨災害時に道路を通れることが重要
- ⑩道路をつくる費用が安いことが重要
- ⑪その他(自由回答)

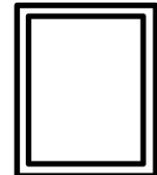
質問2:この地域(飯田市山本～飯田市伊賀良)の現在の道路の状況や、今後の道路整備等について、ご意見がありましたら、ご自由にお書きください。

●回答ハガキ

郵便はがき



料金受取人払郵便



差出有効期間  
平成●年●月●日まで  
[切手不要]

3	9	5	0	0	2	4
---	---	---	---	---	---	---

○○○

長野県飯田市東栄町3350  
国土交通省飯田国道事務所  
計画課 行

---

国道153号(飯田市山本～飯田市伊賀良)に関するアンケート

あなた自身についてお聞かせください。  
回答は□にチェックを記入して下さい。

問1-1.	住所 【1つ選択】	<input type="checkbox"/> 1: 長野県飯田市 ( ) <input type="checkbox"/> 2: 長野県( )市・町・村( ) <input type="checkbox"/> 3: ( )都・道・府・県( )市・区・町・村( ) ※ ( ) 内に具体的に住所を記入してください。番地は不要です。
	性別	<input type="checkbox"/> 1: 男性 <input type="checkbox"/> 2: 女性
	年齢	<input type="checkbox"/> 1: 10代 <input type="checkbox"/> 2: 20代 <input type="checkbox"/> 3: 30代 <input type="checkbox"/> 4: 40代 <input type="checkbox"/> 5: 50代 <input type="checkbox"/> 6: 60代 <input type="checkbox"/> 7: 70歳以上
問1-2.	自動車利用 【1つ選択】	<input type="checkbox"/> 1: ほぼ毎日 <input type="checkbox"/> 2: 週に数回程度 <input type="checkbox"/> 3: 月に数回程度 <input type="checkbox"/> 4: ほぼ利用しない <input type="checkbox"/> 5: 利用したことがない
問1-3.	対象区間の国道153号 利用の有無 【1つ選択】	※「問1-2」で1～4と回答された方にお聞きします。 対象区間【国道153号 飯田市山本～伊賀良】を <input type="checkbox"/> 1: 利用する <input type="checkbox"/> 2: 利用しない (→2と回答された方は裏面「問2-1」へ)
問1-4.	対象区間の国道153号の 主な利用目的 【1つ選択】	※「問1-3」で1と回答された方にお聞きします。 <input type="checkbox"/> 1: 仕事 <input type="checkbox"/> 2: 通勤・通学 <input type="checkbox"/> 3: 日常的な買い物・通院等 <input type="checkbox"/> 4: 観光・レジャー <input type="checkbox"/> 5: その他: ( )
問1-5.	主な利用時間 【複数選択可】	<input type="checkbox"/> 1: 0～3時 <input type="checkbox"/> 2: 3～6時 <input type="checkbox"/> 3: 6～9時 <input type="checkbox"/> 4: 9～12時 <input type="checkbox"/> 5: 12～15時 <input type="checkbox"/> 6: 15～18時 <input type="checkbox"/> 7: 18～21時 <input type="checkbox"/> 7: 21～24時
問1-6.	主な目的地	( )都・道・府・県 ( )市・区・町・村( )